

厚生労働省 令和6年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業
外国人介護人材の受入れ・定着にむけた効果的なICT機器等のツールの利用に関する調査研究事業

外国人介護職員の受入れ・定着のための ICT機器等の活用事例集



令和7年(2025年)3月
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

#e-ラーニング

外国人介護職員の学習環境を整備・支援 外国人介護職員がe-ラーニングで効果的に学ぶために

社会福祉法人 平成福社会 グループホーム ラ・シーク桂台

■ 基本情報

- サービス種別：認知症対応型共同生活介護
- 職員数：16名(内、介護職員13名、外国人介護職員2名)
- 外国人介護職員内訳：特定技能2名
- 機器の導入状況：e-ラーニング(2022年～)、記録ソフト、見守り支援機器 等

■ 課題

- 人的・地理的な要因もあり、施設で日本語や介護技術の学習環境を整えることが困難だった。

■ 活用の状況

- 全ての外国人介護職員に対して、有料のe-ラーニング(介護福祉士国家試験対策講座)プログラムを活用している。いつでもどこでも講義を受講できる「動画レッスン(e-ラーニング)での自主学習」と、仲間と一緒に学ぶこと「コホート学習」を組み合わせた学習システムである。オンラインのライブ授業は、難易度がクラスによって異なるため、対象者はクラスによって変えている。
- オンライン授業の出席や状況は、管理者が確認している。

■ 活用の工夫

タブレットの貸与・宿舍のWifiの整備

- 学習のためのタブレットをすべての外国人介護職員に貸与しています。また、外国人介護職員の宿舍にも、Wifi環境を整備しています。

学習のための勤務調整

- 授業の出席や空き時間に学習できるように、勤務を調整する等の配慮をしています。

■ 活用の効果



外国人介護職員

勉強の内容が仕事で使う日本語中心なので、勉強したことをすぐに仕事へ活かせます。
(インド/特定技能/来日2024年)

一人で学習を進めるのではなく、同じ目標を持つ外国人介護職員が学び合うことで、モチベーションの維持にもつながります。
外国人介護職員のレベルに応じてクラスが分けられる点も魅力です。



管理者